



市議会議員  
上田由美子  
☎ 68-2106  
Fax 68-2146



参議院議員  
井上さとし



前衆院議員  
藤野保史

9月議会

上田由美子市議の一般質問（4）

# 市は国に働きかけを

【上田市議】マイナンバーカード保険証の発行に伴い、今の健康保険証を2024年10月に廃止することを、政府は撤回していない。



病院を受診した際に、マイナンバーカードを読み取り機に入れたところ、写真が別人であると判定され、暗証番号を求められたが覚えておらず、保険証としては使えなかったという話を聞いた。幸

# 健康保険証を残せ

い今の保険証を持つていたために、診察を受けることができた。このようなトラブルは全国で起きており、多くの人々が不安を感じ、今の保険証を残した方がよいと答える人が70%以上上っている。マイナ保険証を持たない人に資格確認書を発行するとしているが、誰が持っているかわかりません。自治体に新たな負担となる。

## 市長は「廃止延期を」とマスコミに回答 もう一步「残せ」と主張を 上田市議

桜井市長は、今年7月に実施された共同通信のアンケートで、今の保険証について「廃止を延期すべき」と回答された。ぜひもう一步踏み出し、今の保険証を残すことを主張してはどうか。

### 「国に働きかけは考えていない」市長

【桜井市長】国では、マイナンバー情報総点検本部を設置し、11月末までに総点検を完了するとしている。トラブル再発防止と利用者の不安解消、円滑な移行などの課題は国において解決されると考える。国に対し、健康保険証を廃止しないことを働きかけることは考えていない。

### 上田市議 「情報漏洩も心配 廃止しないことが重要」

【上田市議】国民皆保険制度の立場から、すべての人に保険証を確実に交付することが大切である。マイナンバーカードには多くの情報がひも付けられており、持ち歩くことに不安を感じ、情報漏洩も心配だ。今の保険証を廃止しないことが重要だ。

政界川柳

荒川 翔平

物価上がり 支持率下がる 新内閣



## 公共施設

### 稼働率で開館時間を縮小

小矢部市は、公共施設の稼働率が低いからと、開館口や時間を減らす条例改定案を、9月議会に提出しました。

今回対象になったのは俱利伽羅源平の郷植生口と市文化スポーツセンター(植生)です。第3次行財政改革計画に依るとしてはいますが、市民のために税金でつくった公共施設を、稼働率だけで利用時間を縮小するのは本末転倒です。

### 利用しやすくする工夫こそ必要

#### 上田由美子市議が反対討論

上田由美子市議は、「公共施設を、多くの市民が利用しやすいように工夫することこそ小矢部市に求められることではないでしょうか」と述べ、この条例改定に反対討論しました。

### 俱利伽羅源平の郷植生口 毎週月曜日休館に

俱利伽羅源平の郷植生口は、小矢部市の様々な時代の歴史を学ぶことのできる展示を備え、俱利伽羅県定公園を紹介する施設として、小矢部市の観光に重要な役割を担ってきました。アウトレットに来た方を市内に呼び込むことも期待されています。ところが、第3月曜日のみであった休館日を毎週月曜日にするとしています。月曜日が休みの業種の方などが見学できず、観光客の減少につながるおそれがあります。

### 文化スポーツセンター

#### 平日は午後9時30分までに 日曜・祝日は午後5時までに

小矢部市文化スポーツセンターは、火曜日から土曜日までの開設時間を従来の午後10時までから、午後9時30分までに、また日曜日・祝日の開設時間を従来の午後10時までから午後5時までに変更するとしています。

今、定年後も70歳や75歳まで働く人が多くなっています。仕事などの都合で、日曜日・祝日に利用を希望する人の中には、夕方から夜にかけて使えなくなることで困る人があるのではと考えます。施設の開設時間を維持し、市民の生活を豊かにすることを求めます。